

(様式6-1)事後評価シート

農政部

農地整備課

事業名	県営ため池等整備事業			路河川名等	河南用水路				
番号	2	市町村名	伊那市	箇所名(ふりがな)	河南(かなみ)				
事業計画時の課題・背景及び事業経緯	<p>○本水路は、一級河川三峰川の美和ダムから取水し240haを灌漑する総延長12.7kmの幹線水路であり、三峰川総合開発事業(美和ダム築造)の関連で昭和34年に築造された。築造から45年が経過し、水路壁劣化による漏水が各所で発生している。特に道路下の水路暗渠部では、暗渠頂部に穴が空いた陥没箇所がある。これは社会的経年変化により通行車両が増加、大型化し、暗渠構造が現在の基準を満足していないことも要因である。このまま放置した場合、周辺農地、人家、公共施設に多大な被害を及ぼすことが想定されるため、本事業により改修を実施した。</p>								
事業目的	<p>○本水路12.7kmの内、伊那市高遠町勝間の集落内に位置する暗渠区間L=267mについては、劣化、破損が特に著しくなっており、生活への影響が大きいと、本事業により改修を実施し、農業用水の安定供給と民生の安定を図るものである。</p>								
事業概要	当初工期	H17~H19	費用対効果	1.3	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	最終工期	H17~H20	完了後経過年数	5	上段:当初/下段:最終	国庫	その他	県債	一般財源
	当初計画内容(主な工種)	BOXカルバート L=129m 防水防食塗布工 L=138m			63,000	34,500	12,000	-	16,500
	最終事業実績(主な工種)	BOXカルバート L=196m BOX更正工(製管工法) L= 71m			94,185	51,578	17,940	-	24,668
事業期間の延長、短縮理由と分析	<p>○当初工期より1年延びている。これは、防水防食塗布工を計画していた比較的健全と思われた区間について、工事実施前に測量、既存施設の抽出試験、支持地盤等の調査を行い、詳細な構造計算を実施した結果、構造的な補強を考慮した工法変更が必要となり、この検討に時間を要したためである。</p>								
事業費(予算)の増加、縮減理由と分析	<p>○当初に対して事業費が26,700千円増額している。これは、防水防食塗布工を計画していた比較的健全と思われた区間について、工事実施前に測量、既存施設の抽出試験、支持地盤等の調査を行い、詳細な構造計算を実施した結果、構造補強が必要となったため、BOX更正工(製管工法)およびBOXカルバート改築へ変更を行ったためである。</p>								
①事業効果の発現状況	事業効果の発現状況(A:目的を超えた達成 B:達成した C:概ね達成 D:達成したとはいえない)							評価	
	直接的効果(定量的・定性的)	暗渠頂版部の劣化により穴が空き、埋設道路上での通行が危険な状況であったが、今回の改修により安全が確保された。また、水路壁劣化による漏水が解消され、用水の安定供給が図られた。					B		
間接的効果(定量的・定性的)	漏水により隣接農地、住宅の法面崩落の恐れがあり、見回りなど維持管理に多大な労力が発生していたが、改修により安全が確保され、見回り労力が軽減された。								
②事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化	事業実施に伴う自然環境・生活環境等の変化(A:環境がよくなった B:大きな影響なし C:影響が大きい)							評価	
	工事期間中は隣接住民の通行に制約が発生したが、既存暗渠の改修であり、完成後は隣接住民の生活への影響はない。また、開削による地表環境への影響が大きい区間は製管工法による補強工を採用した。							A	
③施設の維持管理状況	施設の維持管理状況(A:地域の人たちの参加あり B:適切 C:やや不十分 D:不適切)							評価	
	毎年、春の通水前に土地改良区が異常箇所の点検を行い、通水期間も定期的な点検・管理を行っている。							B	
④地域住民等の評価	地域住民等の評価(A:評価が高い B:中程度の評価 C:評価が低い)							評価	
	集落内の暗渠区間が改修されたため、道路上の陥没箇所の危険性や漏水による斜面崩壊の危険性が無くなり、地域住民からも評価されている。							A	
⑤事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況	事業の主たる目的以外で地域社会への貢献状況(A:貢献度が高い B:貢献している C:特になし)							評価	
	近接する薬師堂のしだれ桜には、高遠城址公園と共に毎年多数の観光客が訪れるが、本事業により、道路陥没による通行制限が解消されたため、積極的な観光客誘致が可能となった。							B	
改善措置の必要性	特になし。								
今後の取り組み及び同種事業への活用と課題	本地区と同年代に築造された他の水路でも類似の劣化、破損が多数確認されており、暗渠の道路埋設部の陥没、漏水による土砂災害への対応が必要となる。								
部意見	道路下における暗渠破損箇所を含む幹線水路の改修により、車両通行の安全と、農業用水の安定供給が図られ、事業効果が十分に発揮されている。			行政改革課意見		農業用水の安定確保が図られ、事業の目的を達成している。			

事業名	県営ため池等整備事業		路河川名等	河南用水路	
番号	2	市町村名	伊那市	箇所名(ふりがな)	河南(かなみ)

【事業計画時の写真】

水路(内側)頂部の剥離



水路頂部の陥没



【事業完了後の写真】

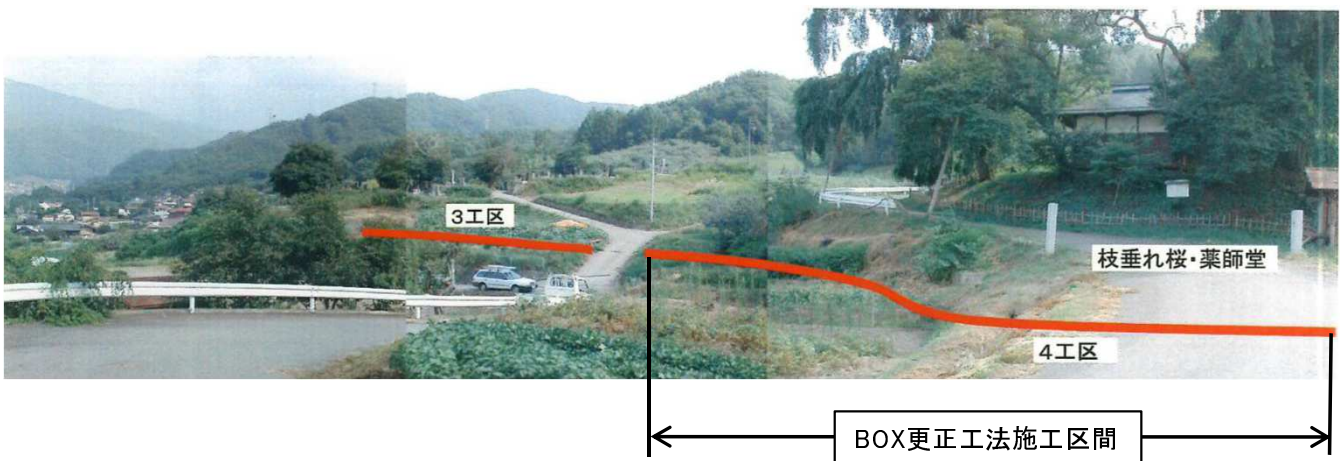
BOXカルバート更生(高1.1m×幅1.4m)の完成



BOXカルバート水路(高1.1m×幅1.4m)の完成



【事業実施に伴う自然環境・生活環境等の配慮】



水路が道路より4~5m深い位置を通ることから、開削による地表環境(枝垂れ桜、建物等)への影響が大きいため、環境に配慮したBOXカルバート更正工法を採用した。